

科目名		中国法と政治特殊講義Ⅱ	
担当教員	熊 達 雲	科目区分	選択必修科目
開講区分	後 期	単 位 数	2 単 位
曜日時限	金曜・1時限	開講年次	1 年
到達目標	中国の憲法をはじめ主要な基本法律および法制度について体系的に理解できる。		
授業概要	中国は『法による国家統治の全面的な推進』を国策として公表したが、法による国家統治の実現にはまだ道のりが遠く、課題が多い。中国は現在、法による統治、法による行政、法治国家、法治政府、法治社会の一体化建設に取り組む事情について、主要法律および法体制の在り方を中心に授業を行う。		
授業計画			
回数	内 容		
第 1 回	中国における近代法律および法制の導入略史		
第 2 回	立法体制および立法手続き		
第 3 回	裁判所の組織と構造		
第 4 回	中国的な独立裁判とはなにか		
第 5 回	弁護士制度について		
第 6 回	検察制度及び法律監督について		
第 7 回	刑務所および刑罰の執行		
第 8 回	党が上位か、憲法が上位か～中国憲法について～		
第 9 回	民法総則の主な内容		
第 10 回	物権法が八回の審議を経てはじめて採択されたのはなぜか		
第 11 回	家庭における約定財産制が導入された理由は何か		
第 12 回	遺産の相続はどのように行われるか		
第 13 回	刑事訴訟はどのように行われるか		
第 14 回	民事訴訟はどのように行われるか		
第 15 回	庶民による官庁への訴えは可能か		
準備学習等 (課題・予習・ 復習・調査等)	課題ごとに予習資料等の指定、講義後の討論に備える調査の要求。		
評価方法・基準 ・講評の方法	講義時の発言・中間報告書（50%）と期末のレポート（50%）で評価する。 講評は面談で行う。		
テキスト・参考書	熊達雲著『法制度からみる現代中国の統治機構』（テキスト） 西村幸次郎『現代中国法講義』 成文堂『中国法学全集』全8巻		
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	昨年度のアンケートで好評を得たので、履修生の思考力、論理力をより向上させるために、 参加型の授業を行う。		
学生への メッセージ	よく予習し、よく復習し、よく考えること。		
授業に参考と なるサイト	http://j.people.com.cn/# （人民網 日本語版） http://www.news.cn/world/ （新華網） http://www.fxqwx.org/ （中国法学創新網）		
関連する画像			
その他・備考			